

広報

くどやま

2019

8月号

No.526



親子クワガタ採り体験がくどやま森の童話館で行われ、
子どもたちは夢中になってクワガタを探していました。

九度山・真田ミュージアム企画展 「兜 一戦いのデザイン」 開催中

第3期は8月7日（水）から10月6日（日）まで

第3期では、様々な「星兜」、「筋兜」、「頭形兜」などの兜の他、「面頬」、「額金」や「陣笠」などの武器も併せて展示紹介します。いずれもそれぞれ職人の技が光る名品です。

戦国時代には、全国各地で戦が起こり、動員される兵士の人数が増え、兜は、源平合戦のころの鉄形の前立て鉢に星のような紙が並ぶ星兜ではなく、防御性・機動性・生産性を向上させた筋兜や頭形兜がたくさん造られるようになりました。そして兜や武器は、デザインや技術的にも進歩していきました。

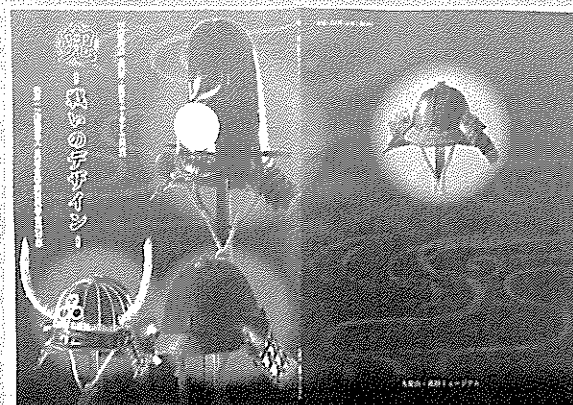
展示品から室町時代、桃山時代を経て江戸時代の武士の歴史と文化と、それを支えた甲冑氏達の技術を見ていただければと思っています。

また本企画展での展示品の解説や兜の見方（図解と用語解説）をまとめた図録（税込1冊1,500円）を販売しています。

引き続き映像では、展示品とともに興味深い「兜」や歴史の中で武将たちにとっていかに「兜」が重要であったかということなどを紹介しています。

小中学生や家族づれの方々にも楽しめるよう「折り紙の兜づくり」や「兜に関するQ&A」もありますので、多数ご来館ください。

■問い合わせ
九度山・真田ミュージアム（☎0736-54-2727）



展示品図録▶



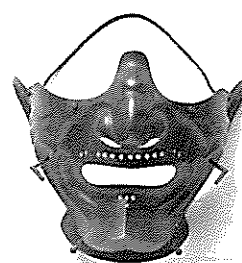
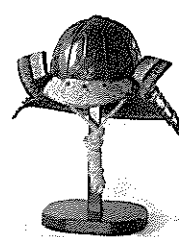
てつさびじ ろくじゅうにけんすじかぶと わねひさつくる
◀鉄鎧地六十二間筋兜 銘 宗久作（室町時代末期 2.69kg）
堅牢に作られた名品です。兜鉢の裏側に「宗久作」と銘があります。宗久は、室町時代末期に活躍した明珍派の甲冑師とみられます。

江戸時代には、この兜鉢のように、中世の著名な甲冑師の作や名品が尊ばれ、鞆などを仕立て直して再び用いられました。

てつさびじ どっこけん ぼんじ ずいろううちだしはちけんすじかぶと
鉄鎧地独鉦剣梵字瑞雲打出八間筋兜（江戸時代 2.46kg）▶

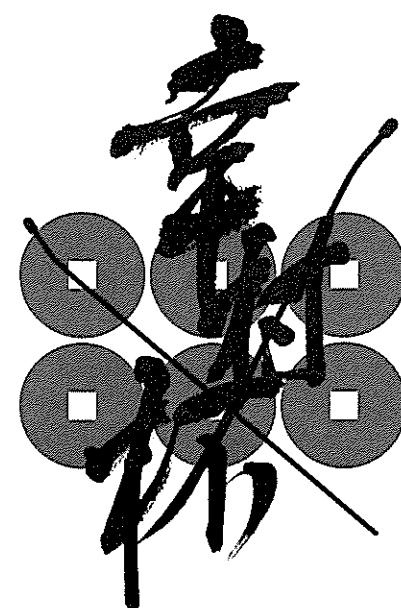
兜の正面に独鉦剣、後正面と左右に瑞雲（めでたいことの前兆として現れる雲）、その間に梵字を打出で表しています。

打出は、鉄板を裏側から叩いて盛り上げ、立体感のある表現をする技法です。この兜では複雑な文様を巧みに打ち出していて、甲冑師の高い技量がうかがえます。



てつさびじ れっせいほお みょうちんきのむねとも
◀鉄鎧地烈勢頬 銘 明珍紀宗知（江戸時代末期 0.29kg）
目の下頬の中で、烈しく怒った威嚇的な表情のものを烈勢頬とよびます。この烈勢頬は、鉄を巧みに打ち出した名品です。複雑な造形が求められる面頬は、甲冑師にとって腕の見せ所でした。

アゴにある銘▶



第4回 全国高等学校男子なぎなた選手権大会 全国女子なぎなた大会

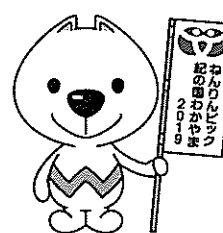
開催のご案内

全国各地よりなぎなたの男女アスリートが九度山の地に集結し、熱い戦いが繰り広げられます。

開催日：2019年8月25日（日）
会場：九度山文化スポーツセンター

プログラム
9:00 開会式
9:40 【男子】競技開始
10:50 【女子】競技開始（予定）
13:40 閉会式および表彰式（予定）

主催：幸村杯なぎなた大会実行委員会
公益財団法人全日本なぎなた連盟
主管：和歌山県なぎなた連盟



第32回全国健康福祉祭和歌山大会 ねんりんピック紀の国わかやま2019

あふれる情熱 はじける笑顔

2019年11月9日（土）～12日（火）

なぎなたの歴史を紹介します！

刃部と柄部からなる”なぎなた”は、歴史が古く、源義経の家来であった弁慶が武器として持っていたのが”なぎなた”と言われています。江戸時代に入り戦場の有用性がなくなり、男性の武術から女性の護身用として用いられるようになりました。

第二次世界大戦後に一時禁止されていたなぎなたは、昭和28年に復活し、昭和30年には全日本薙刀（なぎなた）連盟が新たに発足しました。

「長刀」・「薙刀」は「なぎなた」になり、武道としての伝統を受け継ぎながら、スポーツとして普及し今日に至っています。

現在、競技に使われる”なぎなた”は、刃部は竹製、柄部はカシ製で、長さは210～225cmあります。

■問い合わせ
九度山町福祉課ねんりんピック推進室（☎54-2019）

8月1日現在
開催まで
あと101日



なぎなた交流大会
11月10日～11日

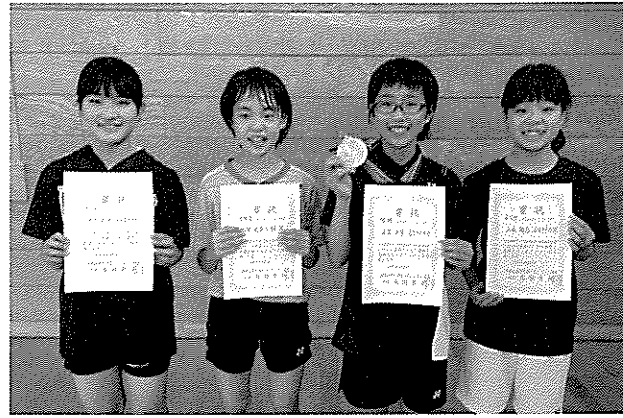
スポーツの大会において、好成績を収めましたので、お知らせします。

スポーツ

バドミントン大会で優秀な成績

6月9日に広川町民体育館で「第20回ダイハツ全国小学生ABCバドミントン大会和歌山県予選会」が行われ、玉置由芽さん（小学6年）が5・6年女子の部で優勝しました。玉置さんは8月11～13日に熊本県八代市で行われる「第20回ダイハツ全国小学生ABCバドミントン大会」に出場します。皆さん、応援をよろしくお祈りします。

玉置さん（写真右から2番目）▶



九度山柔道クラブが優秀な成績

6月30日に和歌山ビックウェーブにおいて「第31回和歌山県柔道整復師会少年柔道大会」が開催され当クラブが優秀な成績を収めました。（敬称略）

- 団体低学年の部
優勝 九度山柔道クラブ
森浦瑛春 安井誠史郎 和田有世 山本陸斗 小林蓮生



九度山ジュニアソフトテニスクラブが優秀な成績

5月12日に三重県紀宝町の鶴殿テニスコートで第24回紀南ソフトテニススポーツ少年団連合会研修大会が開催され、当クラブが優秀な成績を収めました。（敬称略）

- 高学年男子の部（5・6年生）
第3位 正野 貴之（6年）・宮下 光希（6年）
- 低学年男子の部（4年生以下）
優勝 中邑 夢弥（4年）・林 寿李稀（4年）
第3位 中澤 秀哉（4年）・玉置 悠人（4年）
- 6年生女子の部
準優勝 北村 朱寿加（5年）・辻本 絢音（6年）
第3位 兒玉 千咲帆（6年）・北畑 愛満（6年）
〃 秋山 純花（6年）・香西 柚希（6年）
- 4年生以下女子の部
準優勝 辻本 咲良（4年）・井上 優衣奈（4年）



わきあいあい杯ソフトテニス大会

5月18日に橋本市学文路テニスコートでわきあいあい杯ソフトテニス大会がジュニアの保護者も参加し開催されました。（敬称略）

- Aクラス
第3位 狭間 涼帆（6年）・寺岡 真穂（6年）
〃 中谷 璃音（5年）・井上 優衣奈（4年）
- Bクラス
準優勝 石井 義悠（5年）・玉置 悠人（4年）



第67回伊都地方よい歯を育てるコンクールで表彰

6月6日、橋本市立高野口小学校において、コンクールが行われ橋本・伊都地方の小学校23校132名の児童が参加しました。

九度山町からは九度山小学校が参加し、次のとおり表彰されました。

- 個人の部 4年生 第2位 東 ひまりさん
- 5年生 第3位 杉原 蒼弥さん
- 6年生 第3位 葛原 光さん



九度山町社会を明るくする運動啓発

7月1日、保護司会・更生保護女性会・BBS会・九度山駐在所・青少年センターの皆さんが、道の駅「柿の郷くどやま」で啓発活動を行い、地域住民一人ひとりが少年の非行問題を正面からとらえてもらえるよう呼びかけました。

犯罪や非行のない明るい社会が築かれるよう、皆さんのご支援、ご協力をよろしくお祈りします。

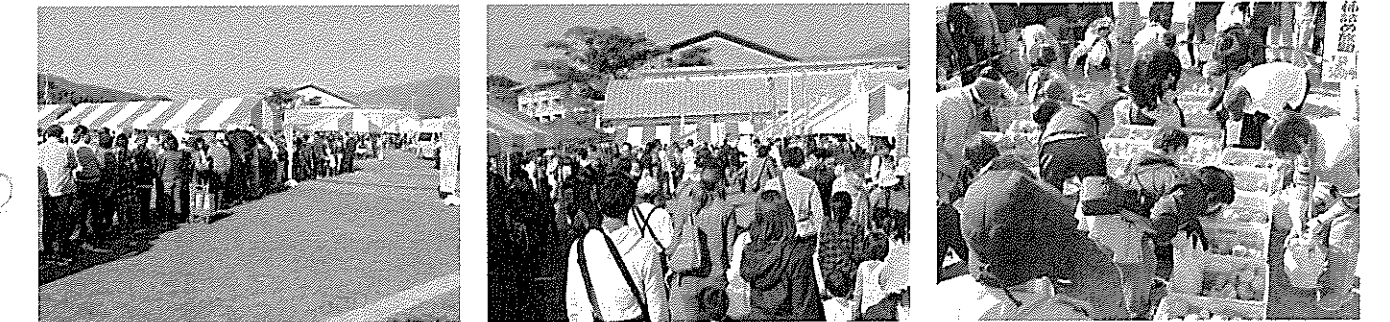
啓発活動に参加の皆さん▶



第13回「大収穫祭IN九度山」を開催します！

今年も「九度山の富有柿」を周辺地域にPRすることを目的として「大収穫祭IN九度山」を開催します。柿などの直売、模擬店、フリーマーケット、ステージイベントの実施を予定しています。

- 日時 11月16日（土）・17日（日）午前10時～午後4時
- 場所 道の駅「柿の郷くどやま」芝生広場



「大収穫祭IN九度山」販売ブースの出店者を募集します！

- 日時 11月16日（土）・17日（日）午前10時～午後4時

※2日両日の出店を原則とします。

- 場所 道の駅「柿の郷くどやま」芝生広場

- 参加資格 町内の満20歳以上の個人・グループ

- 募集区画 約36ブース（1ブース5.4m×3.6m）

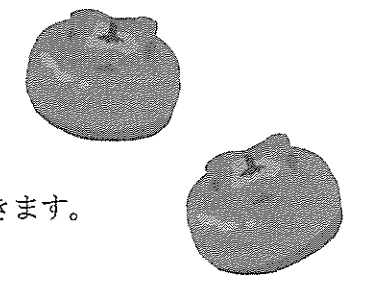
※先着順とし、予定区画数に達し次第、受付を締め切らせていただきます。

- 出店料 1ブース3,000円/1日

- 申込方法

役場産業振興課に備え付けの『出店申込書兼誓約書』に必要事項を記入し、8月30日（金）までにお申し込みください。

- 問い合わせ 「大収穫祭IN九度山」実行委員会事務局（役場産業振興課内 ☎54-2019）



写真コンテストの審査結果

今年も多くの方々からご応募いただきました。誠にありがとうございました。応募作品75点のうちから厳正なる審査の結果、入賞作品が決まりましたので、紹介します。（敬称略）



◀ 推薦 「ゆきむらさま〜」
西山 隆（九度山町）

【選評】

武者行列の先頭を行く旗を持つ少年の目力がこの作品の見所。進みゆく行列の凛と張り詰めた空気感を感じさせています。また、対角線にとったフレーミングも緊張感をより一層高めている作品です。



◀ 特選一席 「タイムスリップ」
武西 邦夫（和歌山市）

【選評】

古い町並みを背景に進む平安衣装の女性達、逆光と道路の照り返しによってそのフォルムをうまく浮かび上がらせ、小さな少女の瞬時の表情をとらえたシャッターチャンスが優れている作品です。



▲ 特選二席 「赤い応援団」
井阪 明（大阪府高石市）

【選評】

行列に参加の十勇士とそれを見る人たちとの、声が聞こえてきそうな距離感がいい。足元の形も絶妙で、画面をうまくまとめている作品です。



▲ 特選三席 「次の主役はだ〜れ」
新開 豊（九度山町）

【選評】

二人の子供武者が主役。それを見る子と撮る家族に囲まれ、子供同士の仕草・表情から、祭りの雰囲気がよく伝わってきます。後姿の子供の表情も想像される作品となっています。また"タイトル"もいい作品です。

■ 入選作品

- | | | |
|------------|-------|----------|
| 「祭り見物」 | 磯 秀樹 | （紀の川市） |
| 「5月5日の九度山」 | 楠田 秀雄 | （大阪府八尾市） |
| 「鉄砲隊」 | 岡崎 弘幸 | （和歌山） |
| 「まだかなー」 | 宮脇 和也 | （岩出市） |
| 「響け青空に」 | 森 和代 | （和歌山市） |

■ 人形めぐり賞

- | | | |
|---------|-------|--------|
| 「親ゆびひめ」 | 辻本 真紀 | （九度山町） |
|---------|-------|--------|

広報くどやま NO.526 令和元年8月1日発行 編集発行 九度山町役場総務課 〒648-0198 和歌山県伊都郡九度山町九度山1-190 ☎0736(54)2019